

人的要因に着目した全社横断的な 転倒予防対策の取り組み

事業所名	東洋鋼板株式会社
業界・業種	製造業
従業員規模	1575名
地域	山口県

背景【課題・ニーズ】

当社におけるヒヤリハット報告件数は全体の約30%を「転倒」が占める。65歳定年を導入することで、今後転倒リスクが上昇することが予想される。

「高齢労働者の労働災害防止」に向け、全社横断的に転倒予防対策強化に取り組んだ。

取り組んだ プロジェクト内容

転倒予防 目標

高齢労働者が安全で安心して働ける職場を作り、労働者も身体機能の維持向上に努め、転倒労働災害を防止する

安全・防災管理グループ主導のもと対策に取り組んだ。健康管理センターは転倒の人的要因に着目し、転倒リスク測定や骨密度測定を行い高リスク者に指導を行った。健康保険組合はマイヘルスウェブを通じた運動勧奨やイベントの開催、費用面の補助などを行った。

安全・防災管理グループ

安全衛生委員会で転倒予防対策強化の方針を策定

- ◆ VRによる危険体感訓練
- ◆ リスクアセスメント
- ◆ 職場環境改善



配管のオーバーデッキ設置事例



VR危険体感訓練

健康管理センター

- ◆ 転倒リスク測定
- ◆ 転倒予防セミナー
- ◆ 骨密度測定
- ◆ 定期健康診断フォローアップによる健康管理



転倒予防セミナー



骨密度測定



転倒リスク測定

転倒リスク可視化装置StA²BLE™を用い、リスクを偏差値で示し指導のキッカケにした

理学療法士を招いて転倒予防セミナーを開催し、リスクの高い対象者に対策の具体例を示した

健康保険組合

- ◆ マイヘルスウェブの導入
- ◆ スポーツジム法人契約
- ◆ スポーツ大会参加費用補助
- ◆ ウォーキング大会開催
- ◆ 特定保健指導（運動指導）



ウォーキング大会



歩fes.の開催

やってみての効果

50歳以上の転倒リスク測定では41.1%で転倒リスクが「極めて高い」/「高め」で、参加者の関心は高かった。

転倒予防安全セミナーでは参加者全員が「生活を見直すきっかけになった」と回答した。

今回の対策がキッカケで転倒予防の意識が高まり、自発的な運動習慣獲得につながった。

今後の目標

対象を拡大し
取り組みを継続する

関係会社に
取り組みを広げる

横断的な取り組みを
他の分野に広げる

